

第72回（令和5年2月）文章入力スピード認定試験（日本語）問題

世の中には、何か一つの問い合わせについて深く追求する学者や、ある分野に精通した専門家がいます。その中でも、クモを専門とする研究者たちは口をそろえて、その魅力を語り尽くすことはできないといいます。しかし、多くの人にとっては家の中で見つけてうれしい生き物ではないでしょう。一般的にはあまり好感度が高いとはいえないが、一部の人々にとっては何とも奥が深いものようです。	40 80 120 160 181
研究者たちが注目しているのは、強さと柔軟性を持つ彼らの糸の神秘です。一見どれも同じように見えますが、これは実に7種類もあるといわれており、太さや性質の異なるものを目的に応じて巧みに使い分けているそうです。彼らの巣は、主に中央から放射線状に伸びた縦糸、それと交差するように同心円状に張られた横糸からでき正在して、それぞれ性質が異なります。前者は強度が強く、最初に輪郭として張られます。後者は強さこそ劣るもの、えさとなる獲物を捕らえるための強力な粘液の粒が付いているという特性があります。そのため、虫などの脚や羽がそれに触ると、たちまち身動きが取れなくなり逃げられなくなります。そして捕獲するときは、また違ったタイプの糸を一度に約100本も飛ばし、あっという間に包み込んでしまうそうです。しかも、束ねると鋼鉄以上の強度になり、直径1センチもの太さがあれば、空中で飛行機をキャッチできるともいわれています。それだけでなく、軽くてナイロン以上だといわれるほどの柔軟性があり、しなやかに伸び縮みするうえ、耐熱性もあるというから驚きです。	221 261 301 341 381 421 461 501 541 581 621 647
わたしはこの話を聞いたとき、過去に見た映画の作品を思い出しました。それは研究室に見学へ行った少年が、クモ男になってしまいうといストーリーでした。その中で、彼が手の辺りから糸を飛ばして、建物から建物へ自在に飛び移るという印象的なシーンがありますが、こうした特長を知ると、意外と現実的な話のように感じて、また見返してみたくなりました。	687 727 767 807 814
最近、リサイクルはもちろん、サステナブルな社会づくりや、それを実現するための取り組みが各方面で行われています。そういった点では、クモはもともとエコを実践しているといえるかもしれません。例えば、巣を張り替える際には不要となった糸を回収し、新たに張り始めるときにそれをおなかから出して使うのです。生まれながらに再利用できる能力を持っているということです。さらに、紫外線に強いという特長もあるため、新しい繊維として利用できるのではないかと、長い間研究されてきました。欧米などでは、多くの企業が競ってチャレンジしたこと也有ったようですが、なかなかうまくいかなかったため、長年夢の素材といわれてきました。そうした中、遺伝子操作による製造に成功した企業がわが国にあるそうです。生産性やコスト面などにおいてまだまだクリアすべき点はあるものの、今後、幅広い分野への応用が期待されているようです。クモの糸は知れば知るほど奥が深く、そこからわたしたちが学ぶべきことがたくさんあります。	854 894 934 974 1,014 1,054 1,094 1,134 1,174 1,214 1,250
ここ数年、ますます健康への意識が高まっています。そのためか以前にも増して、早朝や夕方に河川敷や公園でジョギングをする人をよく見掛けるようになりました。また、相変わらずウォーキングも人気なようです。正しい姿勢や体重移動、呼吸などを意識しながら	1,290 1,330 1,370

ら歩くことによって、内臓脂肪などの燃焼効果や生活習慣病予防が期待できる有酸素運動の一つです。いずれも特別な道具をそろえる必要はなく、手軽に始められるのがメリットです。	1, 410 1, 450 1, 454
健康といえば、身体はもちろん精神的な面も大切です。日本には古くから散歩や散策、遊歩といった、日々の暮らしの中で歩くことを楽しむ文化があります。それは日常の悩みや取るに足らないことは忘れて、自然に心を解き放ち、四季折々の変化を楽しむという意味もあるようです。その中にいると、意外にたくさんの新しい発見があるものです。山や川、森などへの理解を深めることで散歩への意識が高まり、そして楽しさが加わるという感じでしょうか。	1, 494 1, 534 1, 574 1, 614 1, 654 1, 663
どんな町でも少し歩けば、緑道や公園などで、さまざまな植物たちに出会うことができます。そんなとき、せっかくなので見つけた草花の名前を覚えたり、それについて調べてみたりすると知識の幅も広がります。何げなく視界に入る道端の花であれば記憶にも残りにくいかもしれません、例えばそれがどんな名前のいつごろ咲くものかなどの知識があれば、また違った形で心に刻まれるような気がします。最近では、撮影するだけで植物の名前が表示されるというスマートフォンのアプリもあります。こうした便利なものはどんどん活用したいものです。都会で暮らしていると自然と触れ合う機会が少ないという声も聞かれますが、少し注意してみると多様に散在していることに気付きます。全国にある街路樹は1000種類以上ともいわれ、四季によって、さまざまな姿を見せてくれます。よく観察してみると、道路や公園の石などの間から顔を出している草花は多彩で、特に雑草の力強さには感心させられます。	1, 703 1, 743 1, 783 1, 823 1, 863 1, 903 1, 943 1, 983 2, 023 2, 063 2, 079
さらに植物だけでなく、わたしたちを取り巻く事柄について知るのも楽しいかもしれません。中でも気象に関する言葉は、季節によって趣深いものが多くあります。例えば時雨や五月雨など、日本には雨の情景を表す言葉がたくさんあります。これらの時季は、多くの人が何とも落ち込んだ気持ちになりがちですが、日本語の豊かな表現を知ることによって、その季節ならではの風情を感じることができます。天気の良い日に澄んだ青空を眺めながらする散歩はもちろんですが、雨の趣を感じるように視点を変えてみると、また違った楽しさを得られるかもしれません。	2, 119 2, 159 2, 199 2, 239 2, 279 2, 319 2, 337
また、住んでいる町に古くからある寺院を巡って歴史に触れたり、普段はあまり通らない小道を歩いたりするのもよいでしょう。他にも時間帯でいえば、早朝の散歩はお勧めです。まだ人の気配が少ないからか、昼間より時間の流れが緩やかに感じられます。幻想的な雰囲気が非日常的な世界を味わわせてくれて、心身共に癒やしてくれるような気がするものです。草木が風に揺れる音、虫や鳥の鳴き声が普段より鮮明に聞こえて、その音色が心地よく感じられます。心身共に健やかな状態を保つために、こうしたゆったり歩く時間で精神面を安定させ、ジョギングやウォーキングで健康な体づくりをするなど、それぞれの目的を分けてみるのもよいかもしれません。	2, 377 2, 417 2, 457 2, 497 2, 537 2, 577 2, 617 2, 638